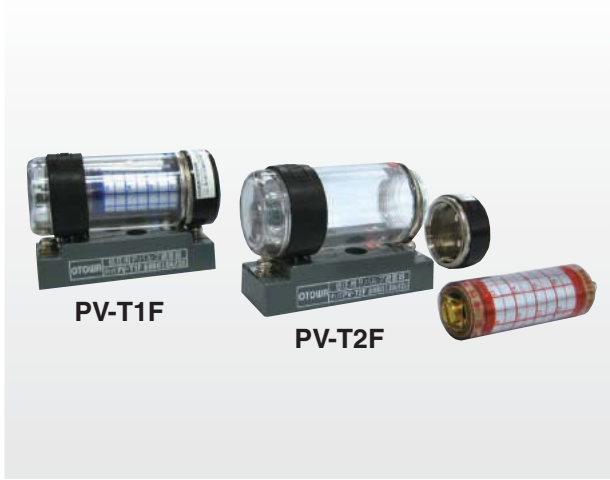
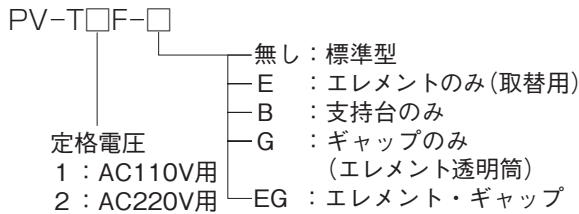


# 低圧用Pバルブ避雷器



## 形式



## 特性表

形式	定格電圧	公称放電電流 8/20 $\mu$ s	放電開始電圧		耐電圧 <sup>注1)</sup>		制限電圧	放電耐量
			商用周波	雷インパルス 1.2/50 $\mu$ s	商用周波 1分間	雷インパルス 1.2/50 $\mu$ s	放電電流 1500A(8/20 $\mu$ s)	雷インパルス大電流 4/10 $\mu$ s
PV-T1F	110V AC	1500A	200V以上	1000V以下	2000V	5000V	500V以下	15kA 2回
PV-T2F	220V AC		400V以上	2000V以下			800V以下	

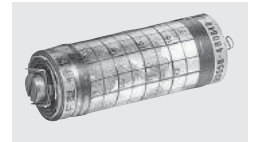
注1) 容器のみについて実施。  
 注2) 使用温度範囲 -20℃~+50℃

## 用途

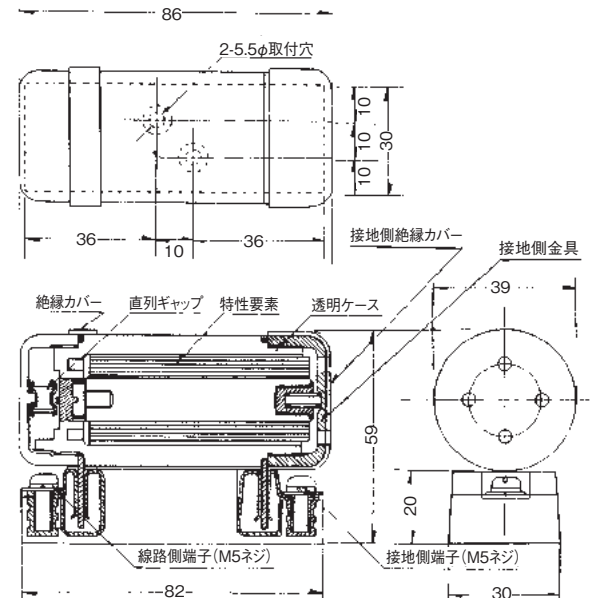
- 低圧配電盤(分電盤)並びに低圧回路の電源保護
1. コンピュータ、その他の電子関係機器の電源保護
  2. 発電所に於ける制御、通信回路の電源保護
  3. テレビ・ラジオ等放送所機器の電源保護
  4. 配電線取付各種自動制御機器の電源保護
  5. 太陽光発電システム機器の電源保護
  6. ダム、スプリンクラ等の屋外制御回路の電源保護
  7. 火災報知器回路の電源保護
  8. 通信設備の電源保護
  9. 鉄道電気設備の電源保護

## 特長

1. 雷サージ記録が残る  
 避雷器が動作すると特性要素(エレメント)の表示面に放電痕跡が残ります。放電痕跡が50%になったときは特性要素(エレメント)を交換してください。
2. 制限電圧が低い  
 100V回路用500V以下、200V回路用800V以下、絶縁強度の低い機器でも雷サージから保護します。
3. 特性要素の取り替えは簡単  
 特性要素の取替時期は表示面の放電痕跡で簡単に判別できます。



## 外形寸法図

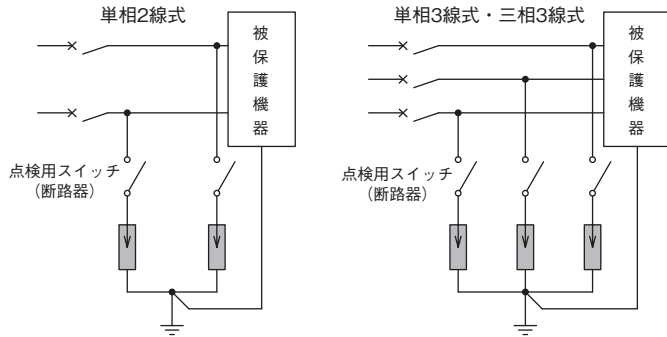


電源用SPD  
 クラスI  
 電源用SPD  
 クラスII  
 接地間用SPD  
 SPD種・その他  
 電源用避雷器  
 信号回線用SPD・  
 避雷器  
 LAN用SPD・  
 同軸用SPD  
 耐雷トランス  
 ホームアレスタ  
 シリウス  
 高圧用避雷器  
 雷関連製品  
 その他

## 取り扱い

### 1. 使用例

- (1) 金属ケースに収納してください。
- (2) 避雷器の電源側には、点検用スイッチ（配線用遮断器定格 30AF 30AT）を取り付けてください。



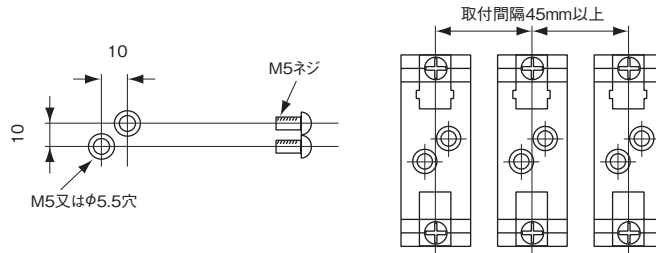
避雷器の取付回路図

表1 使用避雷器一覧

回路	電圧	避雷器
単相2線式	100V	PV-T1F
	200V	PV-T2F
単相3線式	100/200V	PV-T1F
三相3線式	200V	PV-T2F

### 2. 取付方法

避雷器の取付間隔は、図のように45mm以上としてください。



取付穴加工寸法図

取り付け間隔図